



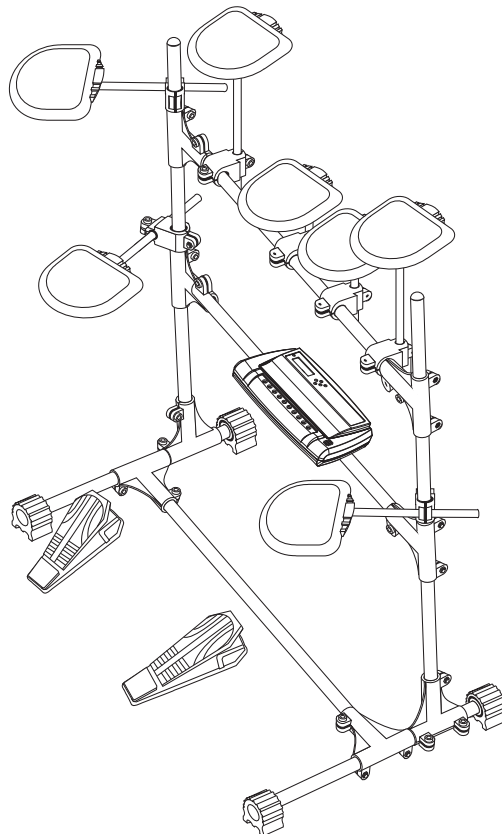
JOY DRUM

Electronic Drum Set

取扱説明書 / 保証書

JUG JOY DRUM の特徴

- * 組み立てて、スピーカーやヘッドホンをつなぐだけのオールインワン・パッケージ。
- * ささまざまなジャンルに対応する 11 種類のドラムキット内蔵。32 バリエーション音色。
- * コンパクトでプレーヤーの体型に合わせて調整可能なドラムスタンド。
- * ステージで演奏しているような臨場感を演出するリバーブ機能搭載。
- * ドラム練習に欠かせないメトロノーム機能搭載。
- * ステレオライン入力 (CD プレーヤー、オーディオプレーヤーなど)
- * ヘッドホン端子 (ミニプラグ)
- * MIDI 入出力端子 … 外部音源や DTM のソフトウェアのコントローラとして





この度は、JUG JOY DRUM をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本機を使用する前に、取扱説明書をよくお読みください。
また、本書はいつでも参照できるよう大切に保管してください。

安全上のご注意




火災・感電・傷害を防止するには

「警告」と「注意」の表示について

 警告	使い方を誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
---	---


 注意	使い方を誤った場合、障害または物的損害の発生が想定される内容を表しています。
---	--


図記号の例


	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

以下の指示を必ずお守りください。

 警告

 本機をご使用前に、以下の指示をよくお読みください。


 いかなる場合でも、本機（ACアダプタ含）を分解したり、改造したりしないでください。



 取扱説明書に書かれていない、修理や部品交換などは絶対にしないでください。修理の必要性があるときには、お買い上げ店にご相談ください。


次のような場所での使用や保存はしないでください。


- ・ 極端に温度が高い場所。
(直射日光が当たる場所、暖房機器の近くなど)
- ・ 湿度の高い場所。
(風呂場、洗面台、濡れた床など)
- ・ 雨が直接当たる場所。
- ・ 砂塵やホコリの多い場所。
- ・ 振動の多い場所。


本機の設置には、本パッケージのドラムスタンド類およびアクセサリ類をご使用ください。


 本機は、安全で正しい動作を確保するため、安定した水平な場所に設置してご使用ください。

  破損や感電の原因になりますので、付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。


 電源コードは、無理に曲げたり、上にものを置いたりしないでください。断線による火災や感電の原因になります。


 ヘッドホンまたはアンプの使用にかかわらず、大音量で長時間使用しないでください。聴覚異常の原因となる可能性があります。万が一、聴力低下や耳鳴りを感じたときには、直ちに使用をやめて専門医にご相談ください。


 本機に、硬貨や針金などの異物を入れたり、液体（水、ジュースなど）をかけたりしないでください。

 次のような場合には、直ちに電源を切り AC アダプタをコンセントから外し、お買い上げ店に修理を依頼してください。






- ・ ACアダプタまたは電源コードが破損したとき。
- ・ 内部に異物が入ったり、液体がこぼれたりしたとき。
- ・ 本機が雨などで濡れてしまったとき。
- ・ 本機が正常に動作しなくなったとき。





 お子様のいる家庭で使用するときには、事故やいたずらなどに注意し、監視するとともに正しい使い方を指導してあげてください。

 他の機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしてしないでください。電源タップなどを使用するときには、電源タップの容量（ワット/アンペア）を確認してください。容量を超えるとコードの被覆が溶けて火災になる恐れがあります。

 海外でご使用になる場合には、お買い上げ店にご相談ください。

注意

-  本機は、風通しのよい、通気が保たれている場所に設置をして、ご使用ください。
-  ACアダプタを本機から取り外したり、コンセントから抜き差しするときは、必ずプラグ部分を持ってください。
-  本機を長時間使用しないときには、ACアダプタをコンセントから外してください。
-  コードやケーブル類は煩雑にならないよう留意し、お子様の手が届かないように配慮してください。
-  本機の上に重いものを置かないでください。

-  本機を移動したり、ACアダプタをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行わないようにしてください。
-  本機を移動するときには、接続しているコードやケーブル類を外してから行ってください。
-  お手入れをするときは、電源を切りACアダプタをコンセントから外してください。
-  落雷の恐れがあるときには、ACアダプタをコンセントから外してください。

注意事項

「安全上のご注意」以外に、以下の注意事項もお読みください。

電源について

- ・本機を、エアコンや冷蔵庫などインバーター制御、モーターを使用した電化製品と同じコンセントに接続しないでください。
- ・本機の長時間使用により、ACアダプタが多少発熱しますが、直流電流の仕様であり故障ではありません。
- ・本機を他の電子機器と接続する場合には、損傷を防ぐためすべての機器の電源を切ってから行ってください。

設置について

- ・本機を、パワーアンプなど大型トランスを持つ機器の近くで使用した場合、騒音を発生することがあります。このような場合には、本機の設置向きを変えたり、少し間隔を空けて設置してください。
- ・本機は、テレビやラジオなどに影響を及ぼす可能性がありますので、これらの近くには設置しないでください。
- ・本機は、高温により変形や変色のおそれがあります。発熱する機器の近くや直射日光が当たる場所への設置は避けてください。
- ・本機を末永くお使いいただくために、湿度が高い場所には設置をしないでください。

お手入れについて

- ・通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、湿らせた布で汚れを拭き取ってください。
- ・変形、変色の原因となる、ベンジンやシンナー、およびアルコール類は使用しないでください。

その他の注意事項

- ・本機の組み立て、また本機をお使いになる際には、怪我に気をつけ、取り扱いには十分ご注意ください。
- ・サウンドモジュールのディスプレイを叩いたり押ししたりしないでください。
- ・演奏する際には、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間はヘッドホンを使用するなど、音量にご注意ください。
- ・本機は、演奏時の打撃音を小さくするように設計されていますが、床や壁を通して振動などが伝わる場合がありますので、ご注意ください。
- ・輸送の際には、本機が梱包されていたパッケージ、または同等の緩衝材を使用して梱包してください。
- ・ドラムパッドとサウンドモジュールの接続には付属の専用ケーブルをお使いください。他社製のケーブルを使用される場合は次の点にご注意ください。
 - ・接続ケーブルには、抵抗が入ったものがあります。本機の接続に抵抗入りのケーブルを使用すると、極端に音量が小さくなる場合があります。ケーブルの仕様については、お買い上げ店にお問い合わせください。

もくじ

安全上のご注意 2

警告
注意事項

もくじ 4

パーツリスト 5

スタンド類
コネクタ類
パーツ類
アクセサリ類

組み立て方法

ドラムスタンドの組み立て方 6

STEP1 フロアバーの組み立て
STEP2 垂直支柱の組み立て
STEP3 一番上の水平バーの組み立て
STEP4 垂直支柱と水平バーの組み立て
STEP5 ドラムパッド支持用バーの取り付け
STEP6 ドラムパッドの組み立てと取り付け
STEP7 サウンドモジュールの取り付け
STEP8 ドラムパッドの位置調整とペダルの設置

アクセサリーの接続 13

STEP1 ドラムパッド/ペダルとケーブルの接続
STEP2 サウンドモジュールとの接続
STEP3 サウンドモジュールと外部機器の接続

使用方法

サウンドモジュールの使い方 16

音色の選び方
ドラムキットの選び方
バリエーション音色の選び方

リバーブ機能 17

メトロノーム機能 17

メトロノーム オン/オフ
ビート（拍子）の設定
テンポ調節

音色一覧表 18

仕様 19

保証規定・保証書 20

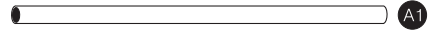
パーツリスト

組み立て前にすべてのパーツが揃っているか確認してください。

スタンド類

- A1 80cm 垂直支柱 × 2
- A2 65cm 水平バー × 3
- A3 40cm バー (長) × 2
- A4 35cm バー (中) × 3
- A5 20cm バー (短) × 2
- A6 40cm フロアバー (T字ジョイント付) × 2

80cm 垂直支柱 × 2



65cm 水平バー × 3



40cm
バー (長) × 2



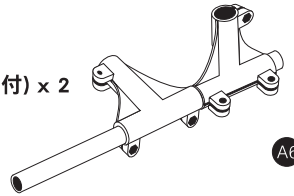
35cm
バー (中) × 3



20cm
バー (短) × 2



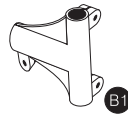
40cm フロアバー (T字ジョイント付) × 2



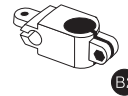
コネクタ類

- B1 T字ジョイント × 4
- B2 コネクタ B2 × 7
- B3 コネクタ B3 × 7

T字
ジョイント × 4



コネクタ B2
× 7



コネクタ B3
× 7



パーツ類

- Y1 フロアストッパー × 4
- Y2 ナット × 49 (予備 5 個含)
- Y3 ボルト × 49 (予備 5 個含)
- Y4 ワッシャー × 49 (予備 5 個含)
- Y5 U字ブラケット × 1
- Y6 ネジ × 2
- Y7 六角レンチ × 1
- Y8 キャップ × 2

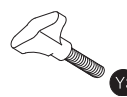
フロアストッパー × 4



ナット × 49



ボルト × 49



ワッシャー × 49



U字
ブラケット × 1



ネジ × 2



六角レンチ × 1



キャップ × 2



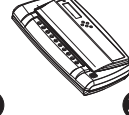
アクセサリ類

- Z1 ドラムパッド × 7
- Z2 サウンドモジュール × 1
- Z3 ハイハット・ペダル × 1
- Z4 バスドラム・ペダル × 1
- Z5 ACアダプタ × 1
- Z6 ステレオケーブル (青) × 2
- Z7 モノラルケーブル-L字 (黒) × 2
- Z8 モノラルケーブル (黒) × 5
- Z9 スティック (2本1組)
- Z10 ケーブル結束バンド × 5

ドラム
パッド × 7



サウンド
モジュール × 1



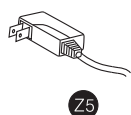
ハイハット
・ペダル × 1



バスドラム
・ペダル × 1



ACアダプタ
× 1

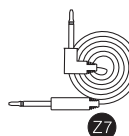


※ペダルの裏に HI-HAT (ハイハット)、BASS DRUM (バスドラム) と記載。

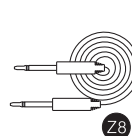
ステレオ
ケーブル
(青) × 2



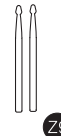
モノラル
ケーブル
-L字 (黒) × 2



モノラル
ケーブル
(黒) × 5



スティック
(2本1組)
× 1



ケーブル
結束バンド
× 5



ドラムスタンドの組み立て方

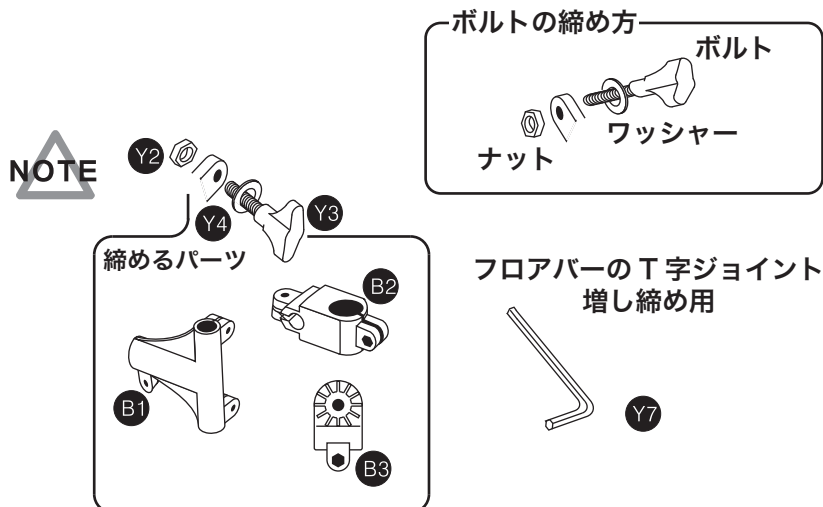
組み立ての前に

ご用意いただくもの

- ・プラスドライバー

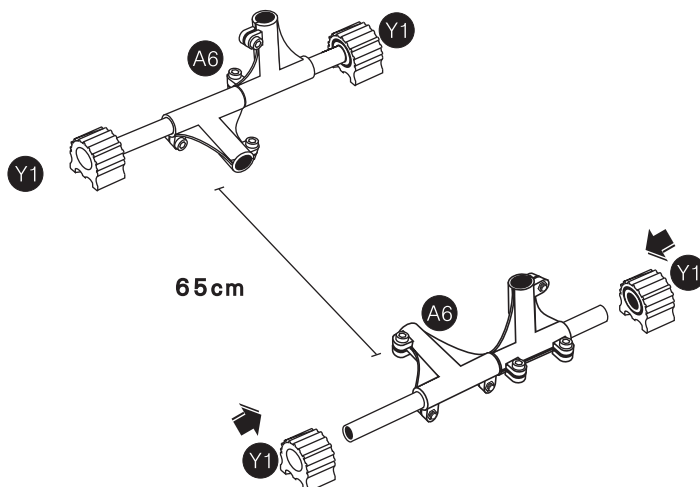


ナット①、ボルト②、ワッシャー③は、セットで使用します。組み立て前に、あらかじめ一箇所にまとめておいてください。ボルトは、ワッシャーを通した後、ナットで締めるようにします。

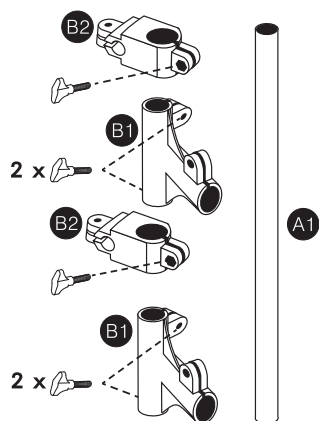


STEP 1 フロアバーの組み立て

フロアバー⑥の両端に、フロアストッパー⑦を差し込みます。これをフロアバー 2 本とも行い、T字ジョイント部を図のように向き合わせ、およそ 65cm の間隔を空けて平行に配置します。



STEP 2 垂直支柱の組み立て



左側

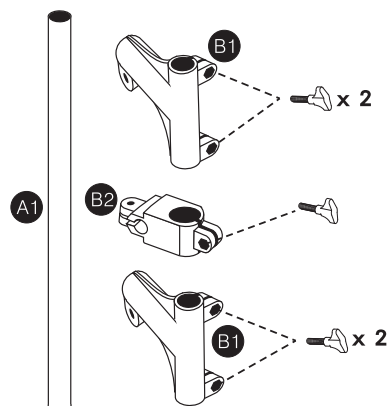
垂直支柱A1に、T字ジョイントB1-コネクタB2-T字ジョイントB1-コネクタB2を図のように交互に通して組み合わせます。

後で位置調節できるように、ボルトを仮締めしておきます。

右側

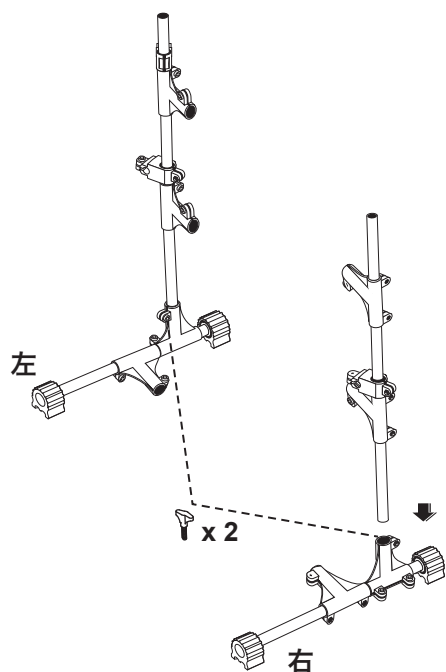
垂直支柱A1に、T字ジョイントB1-コネクタB2-T字ジョイントB1を図のように交互に通して組み合わせます。

後で位置調節できるように、ボルトを仮締めしておきます。



STEP1で組み立てたフロアバーのT字ジョイントに、STEP2で組み立てた垂直支柱を差し込みます。

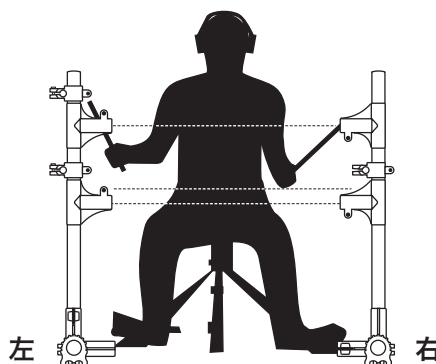
フロアバーに対し垂直になるよう調節し、ボルトを締めます。



NOTE

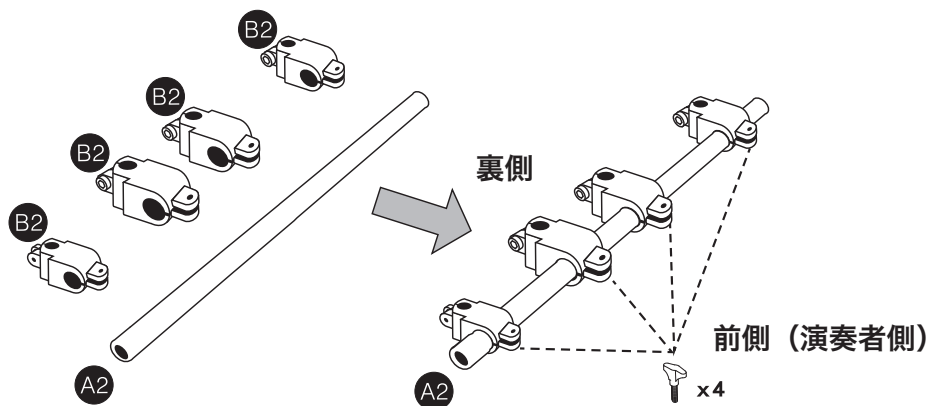
椅子に座った状態で、水平バーの取り付け位置が、それぞれ胸と膝の高さになるように調節します。

高さが決まったら、ボルトを増し締めしてください。



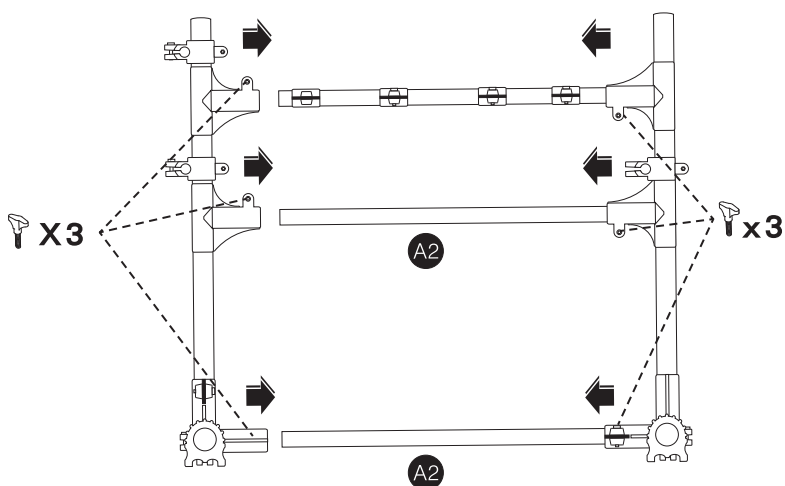
STEP 3 一番上の水平バーの組み立て

水平バーA2に、コネクタB2を4個取り付けます。
後で位置調節できるように、ボルトを仮締めしておきます。



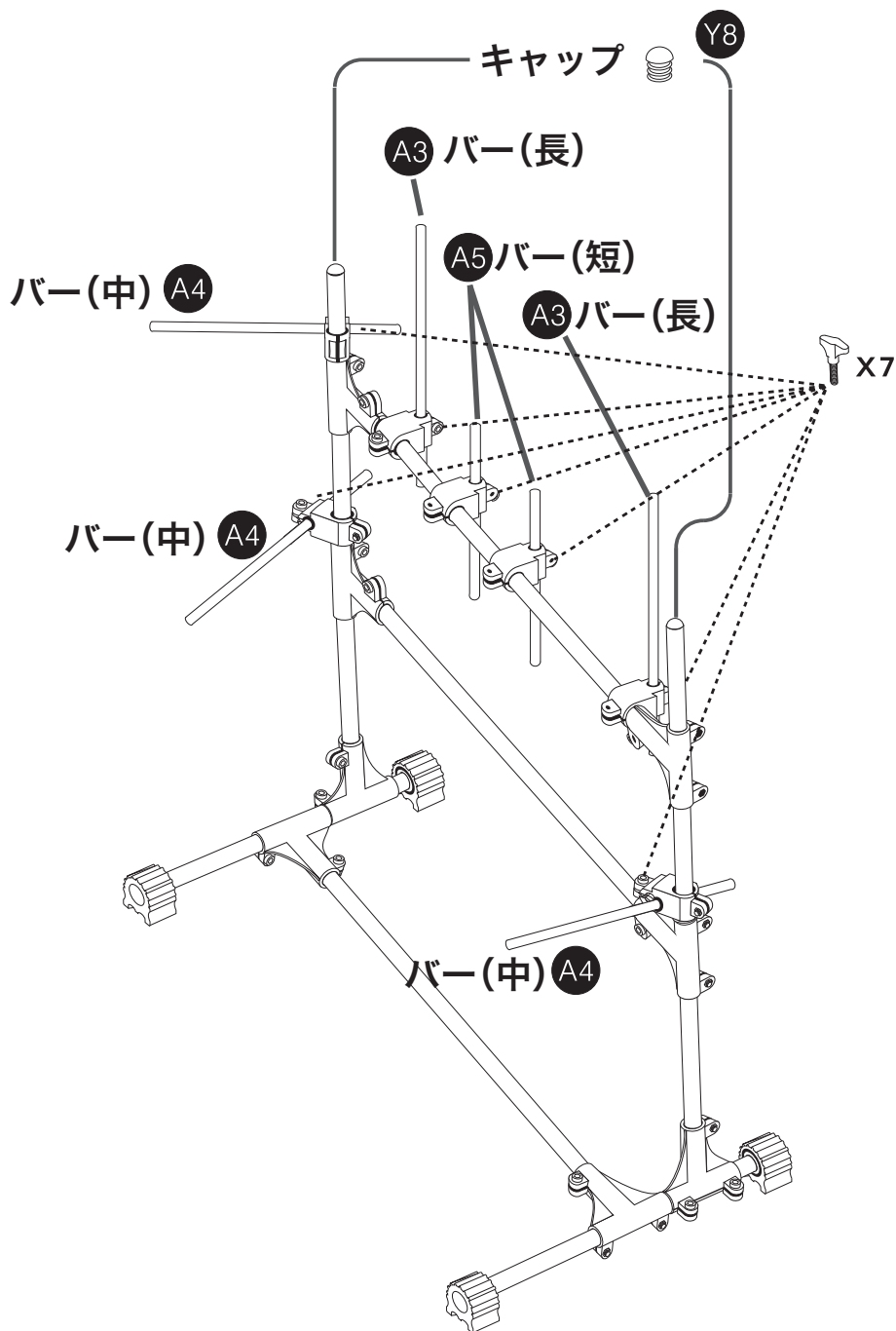
STEP 4 垂直支柱と水平バーの組み立て

図を参考に、3本の水平バーを取り付けます。それぞれのバーを左右のT字ジョイントで挟んで接続します。接続後、ボルトを締めます。STEP 3でコネクタB2を取り付けた水平バーを一番上に取り付けます。



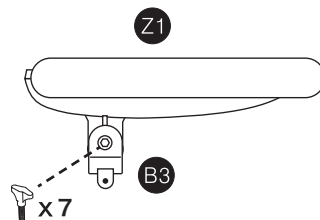
STEP 5 ドラムパッド支持用バーの取り付け

各コネクタに、ドラムパッド支持用のバーA3 / A4 / A5を取り付けます。バーの長短に注意しながら図のように取り付け、ボルトを締めてください。最後にキャップY8を取り付けます。



STEP 6 ドラムパッドの組み立てと取り付け

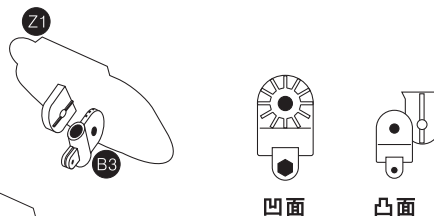
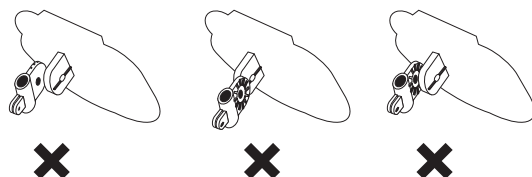
全てのドラムパッド^{Z1}とコネクタ^{B3}を図のように組み立てます。



NOTE

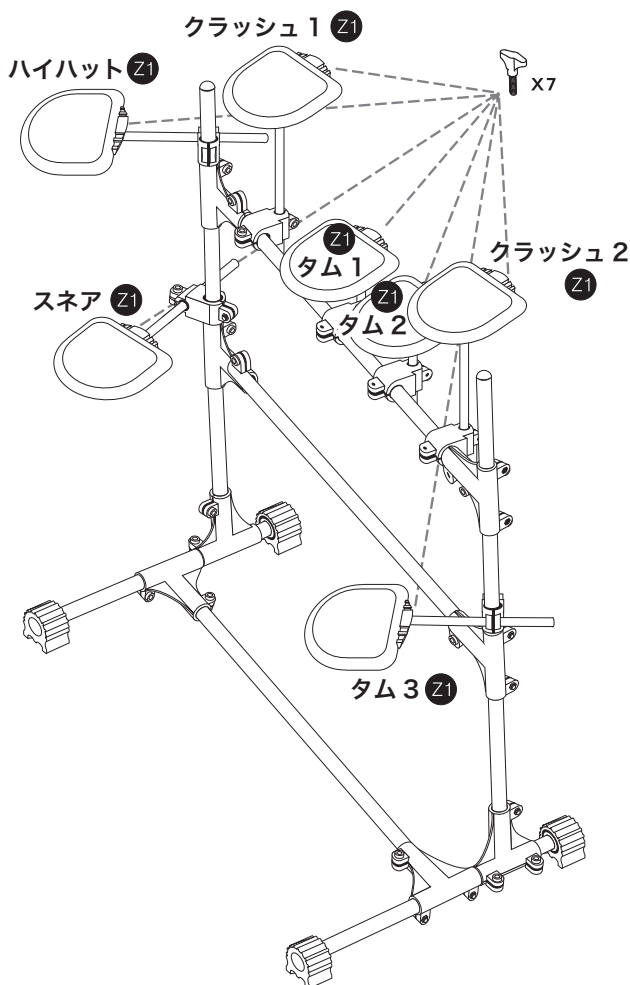
ドラムパッド^{Z1}とコネクタ^{B3}は、それぞれの凸凹面が噛み合うように取り付け、ボルトを締めます。

悪い例

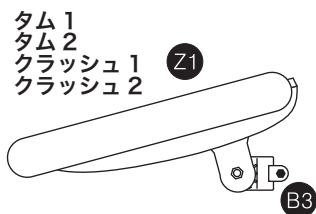


ドラムパッド [スネア、ハイハット、タム 1、タム 2、タム 3、クラッシュ 1、クラッシュ 2] ^{Z1}を図のように取り付けます。

位置を決めてボルトを締めます。

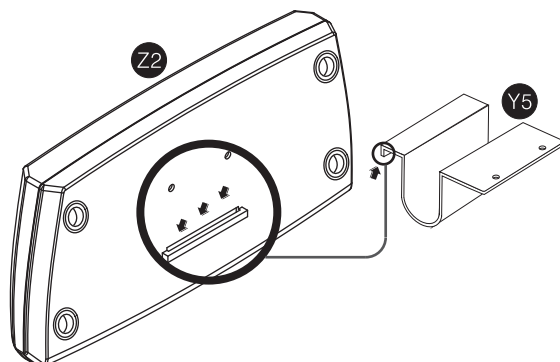


タム 1 ^{Z1}、タム 2 ^{Z1}、クラッシュ 1 ^{Z1}、クラッシュ 2 ^{Z1}は、図のように傾斜をつけ叩きやすくします。

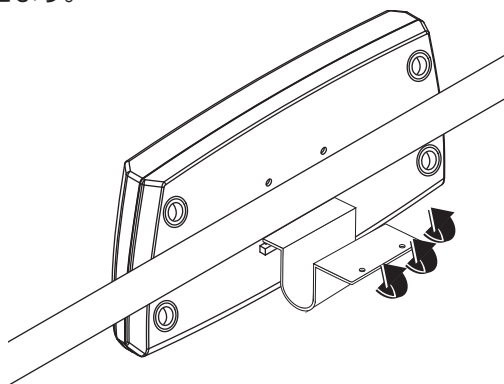


STEP 7 サウンドモジュールの取り付け

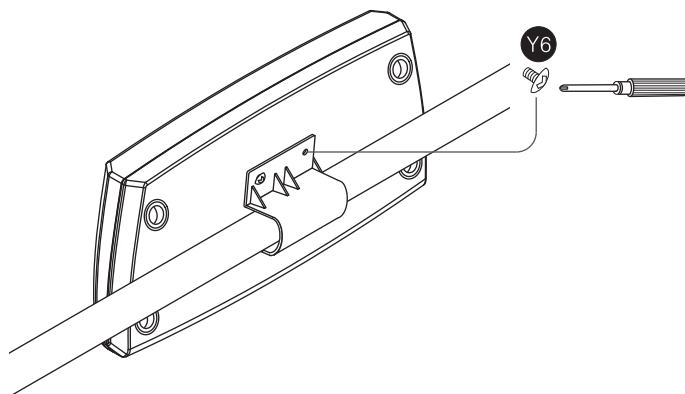
U字ブラケットY5のカギ部分をサウンドモジュールZ2背面の溝にひっかけます。



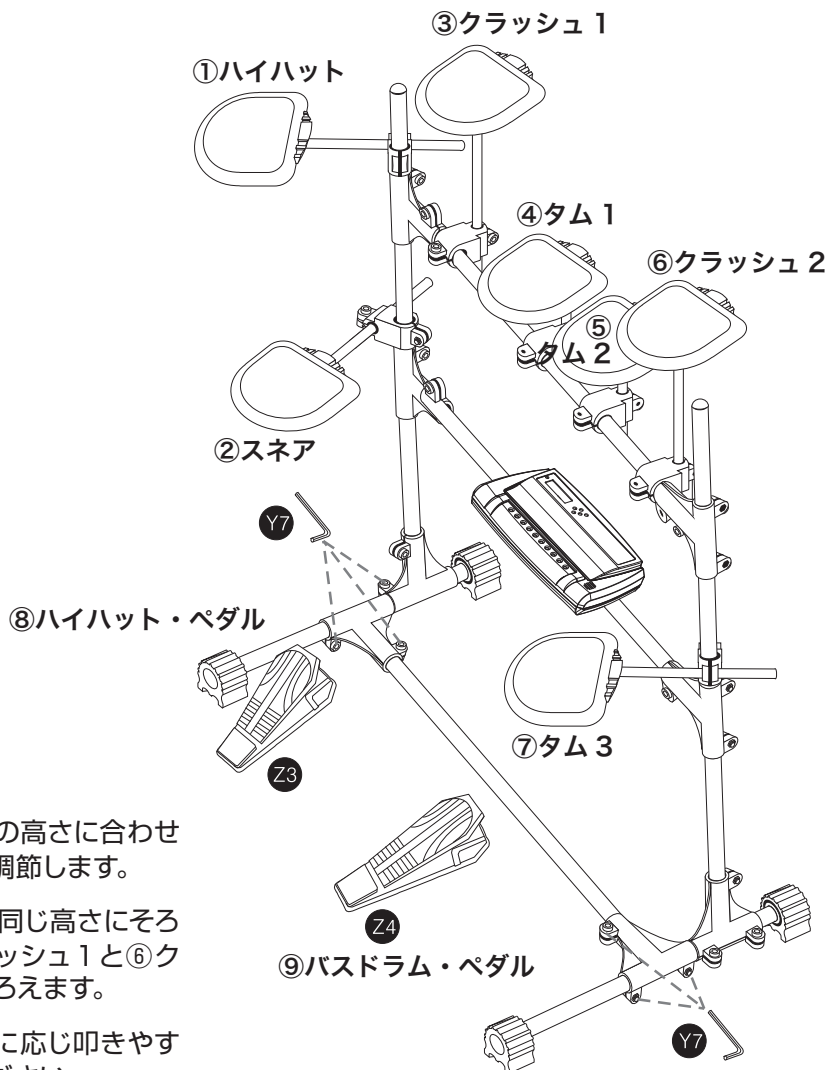
サウンドモジュールを、上から2番目の水平バーに取り付けます。U字ブラケットを水平バーを挟むように回転させます。



プラスドライバーでネジ2箇所を固定し、前面パネルが見えるように位置調節します。



STEP 8 ドラムパッドの位置調整とペダルの設置

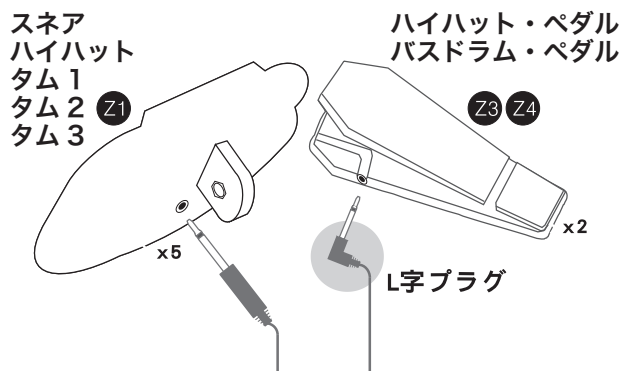


ドラムパッドの位置調整

- 椅子に座ったときの腰の高さに合わせて、②スネアの位置を調節します。
- ④タム1と⑤タム2は同じ高さにそろえます。また、③クラッシュ1と⑥クラッシュ2も同様にそろえます。
- その他のパッドも必要に応じ叩きやすい位置に微調節してください。
- 全体の位置が決まったら、各ボルトを増し締めしてください。このとき怪我に注意し慎重に行ってください。
- フロアバーA6に取り付けてあるT字ジョイントA6は、六角レンチY7で増し締めます。
- ⑧ハイハット・ペダル、⑨バスドラム・ペダルは、図を参考にそれぞれのペダルの位置を決め、設置してください。

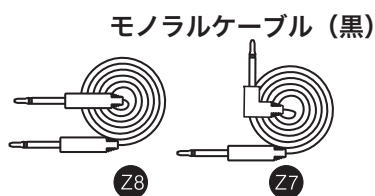
アクセサリーの接続

STEP 1 ドラムパッド / ペダルとケーブルの接続

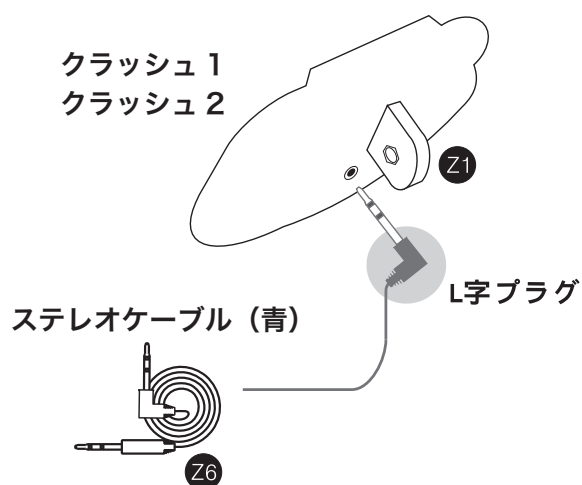


ドラムパッド [スネア、ハイハット、タム 1、タム 2、タム 3] Z1 とモノラルケーブル Z8 を接続します。

ペダル [ハイハット、バスドラム] とモノラルケーブル Z7 を接続します。このとき L 字プラグをペダル側に接続します。

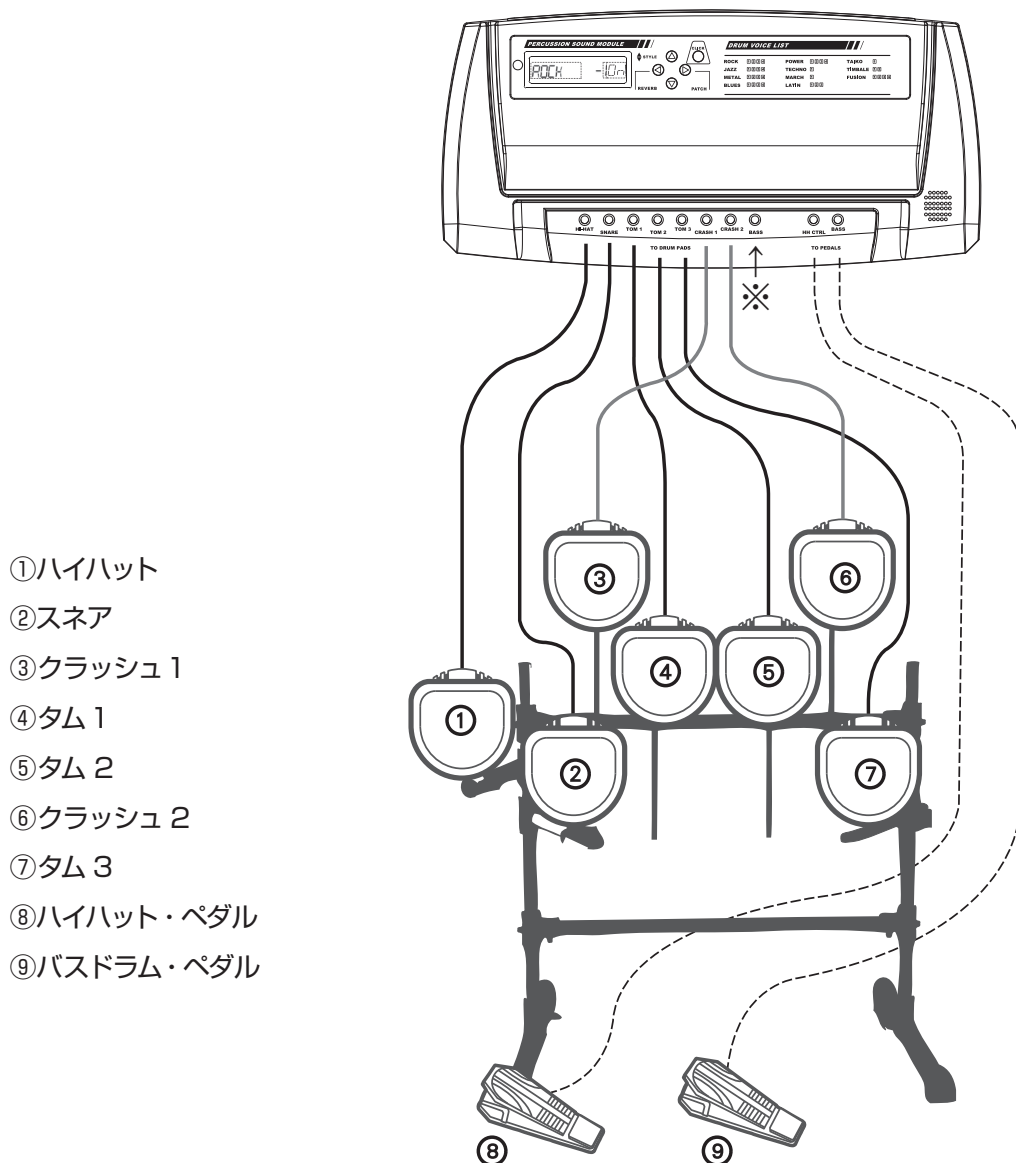


ドラムパッド [クラッシュ 1、クラッシュ 2] Z1 とステレオケーブル Z6 を接続します。このとき L 字プラグをパッド側に接続します。



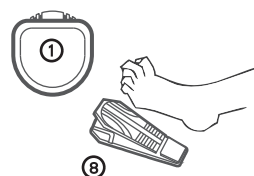
STEP 2 サウンドモジュールとの接続

図を参照しながら、サウンドモジュールにドラムパッドとペダルを接続します。ハイハット、スネアなど、各パッドの位置を確認しながら接続してください。



- ①ハイハット
- ②スネア
- ③クラッシュ 1
- ④タム 1
- ⑤タム 2
- ⑥クラッシュ 2
- ⑦タム 3
- ⑧ハイハット・ペダル
- ⑨バスドラム・ペダル

ハイハット・パッド①とハイハット・ペダル⑧は、連携して動作します。ハイハットのオープン/クローズをペダルでコントロールすることができます。



すべてのパッド、ペダルを接続し終わったら、転倒事故などの防止のため、ケーブル結束バンド⑩を使って、ケーブルをまとめてください。

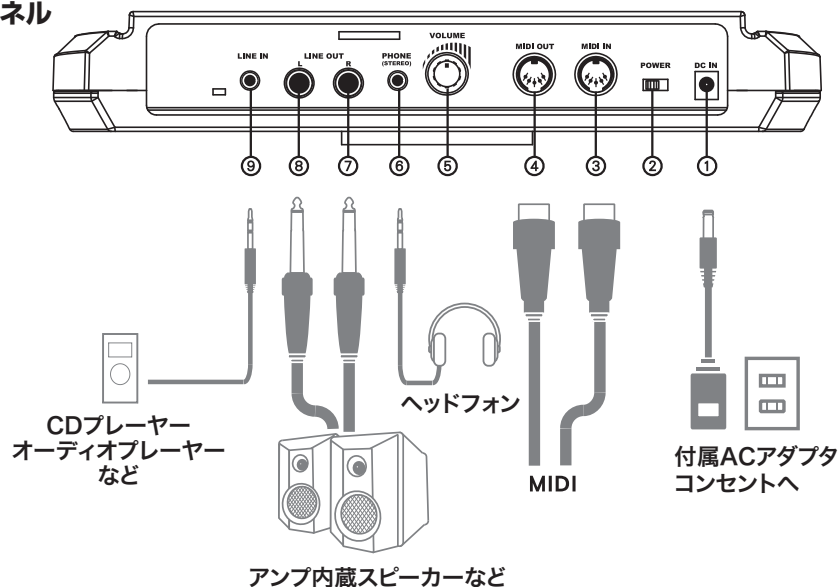
※別売のオプションキックパッドセット“JD Kick Pad Set”を接続する場合に使用します。

STEP 3 サウンドモジュールと外部機器の接続

- ① DC IN・ジャック……………付属の AC アダプタを接続します。
- ② POWER・スイッチ……………電源のオン/オフを切り替えます。
- ③ MIDI IN・端子……………MIDI 入力端子。※
- ④ MIDI OUT・端子 ……MIDI 出力端子。※
- ⑤ VOLUME・つまみ ……音量を調整します。
- ⑥ PHONE(STEREO)・ジャック (ステレオ・ミニ) ……ヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンを接続しても、LINE OUT・ジャックからは音が出力されません。
- ⑦ LINE OUT L・ジャック (フォン・モノラル) ……外部のアンプ内蔵スピーカーなどを接続します。
- ⑧ LINE OUT R・ジャック (フォン・モノラル) ……外部のアンプ内蔵スピーカーなどを接続します。
- ⑨ LINE IN・ジャック (ステレオ・ミニ) ……外部のオーディオ・プレイヤーなどを接続します。入力された音声は、ドラムの演奏音と一緒に LINE OUT・ジャックと PHONE・ジャックから出力されます。

サウンドモジュール背面パネル

外部機器との接続図



NOTE

スピーカーの損傷を防ぐため、各端子への接続は⑤ボリュームを絞ってから行ってください。

※ MIDI について

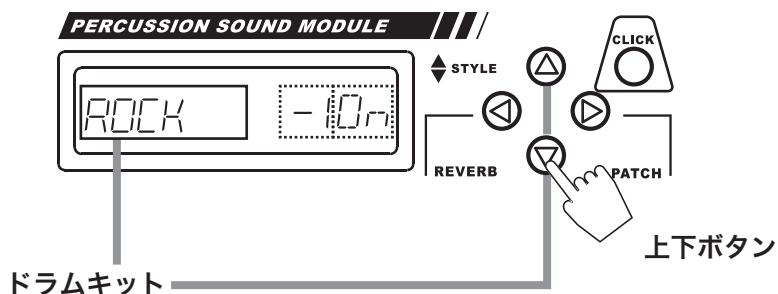
MIDI (Musical Instrument Digital Interface) とは、電子楽器、コンピューター、その他の機器間で、交信・制御・同期などを行うための業界標準の通信規格です。コンピューター、シンセサイザー、MIDI コントローラ、サウンドカード、サンプラー、およびドラム・マシンなどを MIDI ケーブルで接続し、お互いのシステムデータのやりとりができます。

サウンドモジュールの使い方

音色の選び方

ドラムキットの選び方

操作パネルのドラムボイス・リストを参考に、上下ボタン(△▽)でドラムキットを選びます。

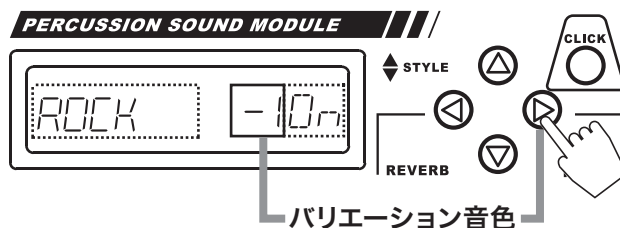


ドラムキット：ROCK/JAZZ/METAL/BLUES/POWER/TECHNO/MARCH/
LATIN/TAIKO/TIMBALE/FUSION

バリエーション音色の選び方

ドラムキットを設定したら、右ボタンでバリエーション音色を選びます。

ドラムキットにより、最大4種類のバリエーションがあります。操作パネルのドラム・ボイス・リストを参照してください。ドラムキットの右数字がバリエーション音色です。



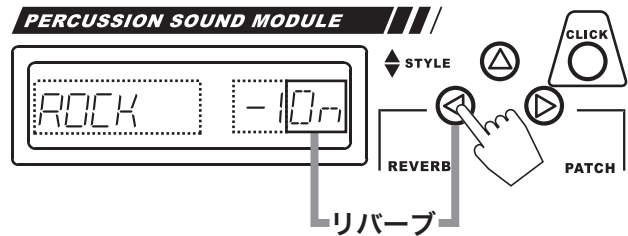
ドラムボイス・リスト

DRUM VOICE LIST

ROCK	①②③④	POWER	①②③④	TAIKO	①
JAZZ	①②③④	TECHNO	①	TIMBALE	①②
METAL	①②③④	MARCH	①	FUSION	①②③④
BLUES	①②③④	LATIN	①②③		

リバーブ機能

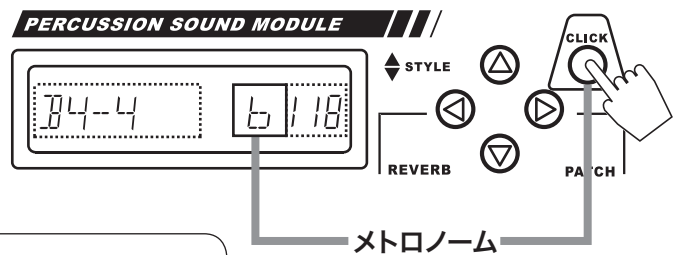
左ボタンで、リバーブ機能のオン/オフ切り替えができます。オンにするとステージで演奏しているかのような残響効果をつけることができます。(オフの時は、何も表示されません。)



メトロノーム機能

メトロノーム オン/オフ

メトロノームを使うときは、CLICK ボタンを押します。押すたびに、オン/オフが切り替わります。



NOTE

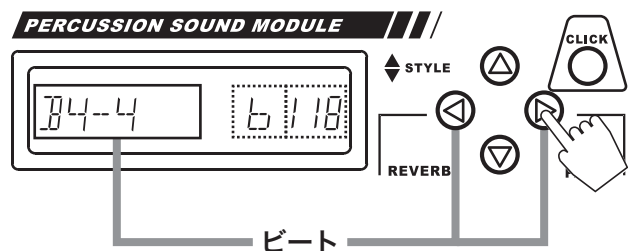
数秒間何も操作をしないと、メトロノームのオン/オフにかかわらず通常画面に戻ります。

メトロノームを止めたいときは、再度 CLICK ボタンを押します。通常画面が表示されているときは、CLICK ボタンでメトロノーム機能を表示させてから、再度ボタンを押します。

ビート (拍子) の設定

メトロノーム機能表示のとき、左右ボタンでビート (拍子) の種類を切り替えできます。

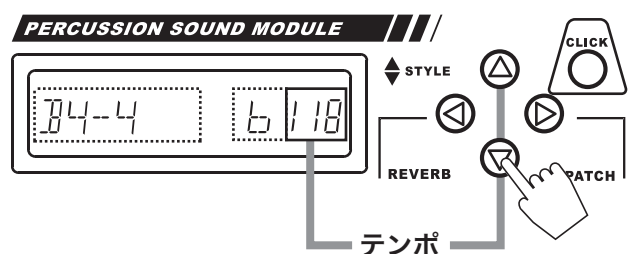
82-4	: 2 拍子
83-4	: 3 拍子
84-4	: 4 拍子



テンポ調節

メトロノーム機能表示のとき、上下ボタンでテンポの調節ができます。テンポ 30-250 に対応しています。

メトロノームを使ったトレーニングは、安定したリズム感を身につけるのに理想的です。ぜひ、活用してください。



音色一覧表

ドラム・キット		HI-HAT	SNARE	TOM1	TOM2	TOM3	CRASH1	CRASH2	BASS
ROCK	1	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	ライド 1	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	サイドスティック	ライド 2	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	チャイニーズ	カウベル
JAZZ	1	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	ライド 1	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	サイドスティック	クラッシュ	ライド 2	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	チャイニーズ	カウベル
METAL	1	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	ライド 1	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	サイドスティック	クラッシュ	ライド 2	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	ライド 3	カウベル
BLUES	1	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	ライド 1	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	サイドスティック	クラッシュ	ライド 2	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	チャイニーズ	カウベル
POWER	1	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	ライド 1	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	サイドスティック	クラッシュ	ライド 2	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	チャイニーズ	カウベル
TECHNO	1	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	スクレーブ	クラッシュ	バスドラム
MARCH	1	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
LATIN	1	ハイハット	ローコンガ	オープンハイコンガ	フロアコンガ	サイドコンガ	ハイウッドブロック	カウベル	バスドラム
	2	ハイハット	ローコンガ	オープンハイコンガ	フロアコンガ	ハイウッドブロック	クラッシュ	ライド 1	クラッシュ
	3	ハイハット	ローコンガ	オープンハイコンガ	フロアコンガ	カウベル	クラッシュ	ライド 2	バスドラム
TAIKO	1	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	スブラッシュ	クラッシュ	バスドラム
TIMBALE	1	ハイハット	スネア	タム 1	クラッシュ	タム 3	スブラッシュ	クラッシュ	バスドラム
	2	ハイハット	サイドスティック	ハイティンバレ	タム 2	カウベル	クラッシュ	クラッシュ	バスドラム
FUSION	1	ハイハット	スネア	タム 1	クラッシュ	タム 3	クラッシュ	カウベル	バスドラム
	2	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	ライド 1	バスドラム
	3	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	サイドスティック	クラッシュ	ライド 2	バスドラム
	4	ハイハット	スネア	タム 1	タム 2	タム 3	クラッシュ	チャイニーズ	カウベル

仕 様

キット構成：バスドラム・ペダル、スネア、ハイハット、ハイハット・ペダル、
タム×3、クラッシュ×2

ドラムキット数：11種類(32バリエーション音色)

サンプリングレート：16bit, 44.1kHz
(サウンドモジュール)

コントロール：POWER スイッチ、STYLE (上下)ボタン、PATCH (右)ボタン、
REVERB (左)ボタン、CLICK ボタン、VOLUME つまみ

クリック(メトロノーム)：テンポ= 30 ~ 250、ビート(拍子)=3種類

接続端子：ラインアウト R/L (モノラル・フォン)、ヘッドホン(ステレオ・ミニ)、
ラインイン(ステレオ・ミニ)、MIDI IN/OUT (5ピン DIN)、
DC IN (付属 AC アダプタ)

電源：DC12V (AC アダプタ)

消費電流：500mA

通常組み立て外寸：(W)900 × (D)520 × (H)1080mm

重量：9.7kg